

第7章 水道事業ビジョンのフォローアップ

7.1 事業計画の概要

南丹市水道事業ビジョンでは、長期的な事業運営を見据えたうえで、平成29年度から平成38年度の10年間で最も優先すべき事項について計画をしました。

施設の整備は、現在課題を持つ浄水場改良の検討および工事実施を計画し、他の施設は統合事業整備等により施設の整備を行っています。しかし、多くの施設が更新期を迎えるにあたり、施設の耐震化を踏まえた更新が必要となり、計画的な事業を実施するために耐震化計画および更新計画を策定し、計画的な施設の整備を行います。

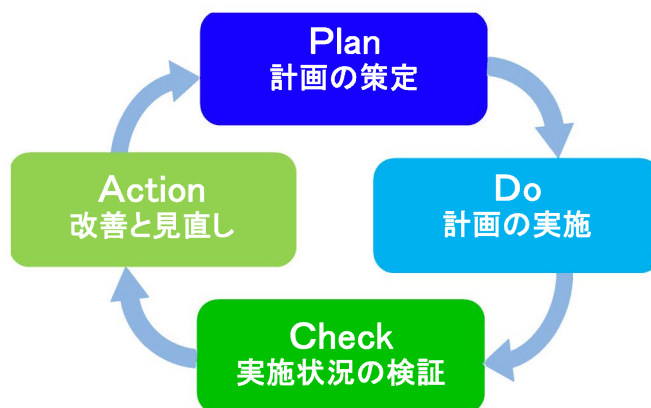
また、施設整備以外では今後においても安全な水の供給を継続していくための「水安全計画」の策定や、施設整備に係る費用やその財源確保等の検討を行うために「アセットマネジメント」の導入を図り、経営の健全化を図る取り組みを行います。

7.2 事業計画のフォローアップ

南丹市水道事業ビジョンは、平成22年3月作成の「南丹市水道ビジョン」に掲げた施策の進捗状況を確認し、状況を精査したうえで作成しました。水道事業は、使用した水量に伴う水道料金を主財源として経営しており、多くの課題に対し全ての施策を早期に実施することは困難な状況であります。

ビジョンで掲げた各施策は、確実に実施していくことが重要であり、今後とも水道事業を継続していくために、5年ごとに施策の進捗状況や社会情勢に対する検証を行い、計画の見直しを行うことにより効果的で着実な事業の推進を図ります。

計画の見直しの際には、計画の策定（Plan）、計画の実施（Do）、実施状況の検証（Check）、改善と見直し（Action）の考え方にに基づき、達成状況を把握し、改善の必要な事業を見直しながら、「安全で安心でき、安定供給を継続できる水道」を目指します。



【事業のPDCAサイクル】